

岡山理科大学総合情報学部情報科学科グループの課題研究について紹介します。

大学指導者：岡山理科大学総合情報学部情報科学科准教授 柳 貴久男先生  
生徒：東，佐上，和氣(R2B3名)，高校担当教員：藤本

## (1) 研究テーマ

「社会情報の解析」をテーマに、R2Bの3名は理科大学総合情報学部情報科学科柳先生のもと、課題研究を始めた。

「統計学」とは、難しいし頭も痛くなるようなテーマであるが、平行線をたどっている議論についても統計学による分析結果によって人を納得させることもある。また様々な分野でも研究発表には欠かせないものである。データと言っても、スポーツシーンでのデータ収集や分析、文字列で記述されたデータの山から情報や知識を探し出すことなど身近には様々なものがある。その中から自分たちの身近なものを調べ、データを収集し、分析を行なっていくことで研究に繋げていく。

## (2) 現在の状況

4月25日(統計とは)

### 【感想】

柳先生から統計に関することをいろいろ聞いた。過去のデータを調べて計算をして予想を立てたり、実際に自分たちがアンケートを取り解析するものなど、様々な手段があった。また数値化・表化を簡単にすることが出来ても、研究材料としてみた時には難しくなるデータもあることを知りました。

5月9日(研究テーマ探し)

各自、インターネットや文献を調べてテーマになりそうなもののデータを持ち込み最終的に課題を決めた。その中から「図書の貸出回数と利用統計」と「サッカーJ2の試合統計」の2つを、題材として研究を進めていくことに決定した。



図1.データ収集

5月16日(データ収集)

まずは、1つ目の研究テーマ「図書の貸出回数と利用統計」のデータ収集を行う。高校図書館の司書教諭に協力をいただいて、昨年度のクラス単位の貸出刷数などのデータを入力して集計していく。このデータから教室と図書館の距離と貸出数の相関関係があるか調べていく。

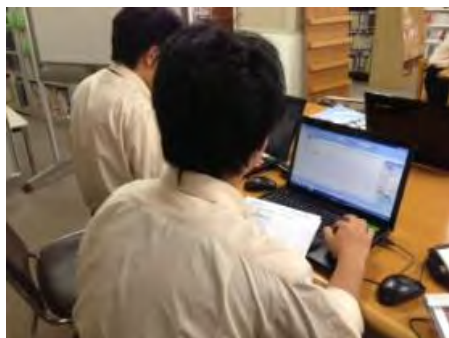


図2.Excelに必要なデータを入力して分析していく